

## 2017年第2回 IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2017年7月14日（金） 14:00～17:00

場所：北海道大学フードアンドメディカルイノベーション国際拠点（FMI）

出席者：津田 Chair、尾上 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、  
大鐘(代理)、尾辻(代理)、宮崎(代理)、佐藤(良)、佐藤(丈)、矢野、石橋、山本、  
水落、浜村、中西、浅野、藤島、桑原、原崎、青山、島村(代理)、滝嶋  
橋本、西宮、南、西原、中里、福田（敬称略、順不同）

オブザーバ：藤野、筒井（敬称略）

事務局：加藤 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料（1）
2. 2017-18年 Japan Council 理事会構成 資料（2）
3. 中間会計報告資料および予算修正 資料（3）
4. 常設委員会 活動状況報告 資料（4）
  - 4-1 Chapter Operations Committee
  - 4-2 Student Activities Committee
  - 4-3 Awards Committee
  - 4-4 Industry Promotion Committee
5. Ad-Hoc 委員会 活動状況報告 資料（5）
  - 5-1 Long Range Strategy Committee
  - 5-2 History Committee
  - 5-3 R10 Meeting2017 及び R10 設立 50 周年・旧東京支部設立  
60 周年記念イベント実行委員会
6. Affinity Group 前回理事会以降の活動報告 資料（6）
  - 6-1 Women in Engineering
7. 各支部活動状況報告 資料（7）
8. JC Coordinator 報告 資料（8）
  - 8-1 MD Coordinator
  - 8-2 YP Coordinator
  - 8-3 LMAG Coordinator
9. その他 資料（9-1,9-2）
  - 9-1 MGA SDEA 委員会の活動状況
  - 9-2 公募案件に関するメール配信について（審議）

議事：

0. 津田 Chair ご挨拶

全国各地からの参加に対して謝辞が述べられた。新しい試みの提案に期待すると述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】

資料（1）

杉江 Secretary より前回理事会（2017年3月開催）の議事録案について説明があり、異議なく承認された。

2. 2017-18年 Japan Council 理事会構成報告

資料（2）

杉江 Secretary より前回理事会以降の信越支部 Chair、関西支部 Vice Chair 交代に伴う JC 理事構成の変更について説明があった。

3. 中間会計報告資料および予算修正

資料（3-1、3-2、3-3、3-4）

眞田 Treasurer より 2017 年中間会計報告があった。審議事項として眞田 Treasurer より名古屋支部からの Section 支援費申請について報告があり、名古屋支部の石橋 Chair より申請内容についての説明があった。本件については津田 Chair より審議材料として支援費の費用対効果、期待する目論みを説明するよう要望が出された。杉江 Secretary より名古屋支部に対して、申請は受理されたが資料の再提出の依頼があった。

4. 常設委員会 活動状況報告

4-1 Chapter Operations Committee

資料(4-1)

藤島 Chair より報告があった。JC COC Meeting の開催、Chapter 支援費申請状況、Award 登録状況、重要課題への対応として Chapter 支援費申請ルールやガイドラインの適宜改訂等の説明があった。

4-2 Student Activities Committee

資料(4-2)

大越 SAC Chair 代理で杉江 Secretary より報告があった。SB 新設の促進および SB 活動の支援、大越 SAC Chair の Sections Congress2017 への参加や MAW2017 併催の Japan SYWL Workshop へ各 SB の代表を派遣すること、ソウル支部との交流再開などが説明された。

4-3 Awards Committee

資料（4-3-1,4-3-2）

桑原 Chair より報告があった。Awards Committee 設立の経緯と委員構成、活動状況、2017 年 TFA 受賞者には海外大学所属の日本人が 1 件であることが伝えられた。また今後の予定について説明があった。

#### 4-4 Industry Promotion Committee

資料(4-4)

原崎 Chair より委員構成、第 2 回 IPC 委員会の開催報告があった。MAW の今後の進め方について JC IPC としての希望、規模の小さな支部で開催する場合の懸念事項が述べられ、懇親会等で各支部のご意見を確かめたいとの希望が伝えられた。

### 5. Ad-Hoc 委員会 活動状況報告

#### 5-1 Long Range Strategy Committee

資料(5-1)

尾上 Chair より、今期の委員構成、第 1 回 JC LRSC 委員会の開催報告があった。各活動テーマに関する意見交換として、新規活性化企画、特に産業界との連携強化策の検討、教育関連活動として TISP イベントの検討、また IEEE の日本語名称検討などの議論内容の説明があった。財政課題については、各支部傘下の Chapter 会計も支部の責任範囲というのが本部の認識であり、各支部において傘下 Chapter の会計のモニタリングを行って欲しいことが説明された。

#### 5-2 History Committee

資料(5-2)

島村 Vice Chair(代理)より報告があった。今期の委員構成、Histelcon2017 の開催準備状況報告、日本における最新の Milestone 受賞状況について説明があった。Histelcon2017 については、Early Registration が終了したこと、現状での収支見通しが述べられた。

#### 5-3 R10 Meeting2017 及び R10 設立 50 周年・旧東京支部設立 60 周年記念イベント 実行委員会

資料(5-3-1、別紙)

杉江 Secretary (実行委員会書記)より報告があった。記念イベントの開催報告、収支状況と JC 積立金による不足金の充当、ホームページへの Event Report 等の公開、実行委員会メンバへのアンケート結果について説明があった。

### 6. Affinity Group 活動状況報告

資料(6-1、別紙)

#### 6-1 Women in Engineering Affinity Group

矢野 Chair より報告があった。役員会議、IEEE ハックチャレンジの開催報告、WIE ILC2017 への参加報告、今後の主な活動計画と予算について説明があった。Japan SYWL Facebook ページの新規開設について報告があった。

## 7. 各支部 活動状況報告

### 7-1 札幌支部

資料(7-1)

大鐘 Vice Chair (代理) より報告があった。活動報告としては、支部総会、第1回理事会を開催した。今後は例年通り、理事会、共催事業、表彰事業、各種講演会開催を計画する。会員数増強の施策や、R10 Meeting 参加報告、Sections Congress2017 への参加計画について説明があった

### 7-2 仙台支部

資料(7-2)

尾辻 Secretary (代理) より報告があった。活動報告として、主催講演会、学生活動、Chapter 支援活動、WIE 設立・活動支援、支部役員の改選について説明があった。Milestone については、「自己補対アンテナ原理の発見と虫明の関係式」認定と記念式典開催予定、「垂直磁気記録」の申請状況について報告があった。

### 7-3 信越支部

資料(7-3)

宮崎 Secretary (代理) より報告があった。支部役員会の開催報告、IEEE セッションと講演会・表彰事業の開催予定、R10 Meeting 参加報告、Sections Congress2017 への参加計画について説明があった。また、信越支部設立 10 周年を記念して、記念事業を計画中であることが伝えられた。

### 7-4 東京支部

資料(7-4)

佐藤 Vice Chair より。理事会、支部総会、講演会の開催、Affinity Group の活動状況等の報告があった。Milestone については新たに認定された3件に対しての贈呈式および講演会が開催された。3月のJapan Sections' 60<sup>th</sup> 記念イベントにおいては、IEEE より東京支部幹事会社8社の長年の支援に対して感謝状が贈呈された。

### 7-5 名古屋支部

資料(7-5)

石橋 Chair より報告があった。名古屋支部 LMAG 設立に向けた講演会の開催および設立申請状況について説明があった。MAW2017 については実行委員会の開催及び準備状況の報告、プログラム案の紹介が行われた。

### 7-6 関西支部

資料(7-6)

山本 Chair より報告があった。活動報告としては、理事会、技術講演会 (WIE, LMAG 共催) を開催し、若手奨励のため YP 賞および学生奨励賞の募集を開始した。関西支部 WIE シンポジウムの開催計画、Student Congress (ANZCON) へ学生派遣を検討することが報告された。なお技術講演会が本年度中に第100回を迎える見込みであり記念事業を検討していることが伝えられた。

#### 7-7 四国支部

資料(7-7)

濱村 Chair より報告があった。第1回役員会の開催、今後の学術大会の開催予定や学生支援活動の計画の説明があった。

#### 7-8 広島支部

資料(7-8)

中西 Chair より報告があった。活動報告としては、総会・理事会を開催し、講演会を行った。IEEE 広島支部学生シンポジウム (HISS) は12月の開催を計画している。またSB新設に向けた活動を検討している。

#### 7-9 福岡支部

資料(7-9)

浅野 Chair より報告があった。活動報告としては、理事会、講演会等を開催、また学生奨励賞等の募集を進めている。今後について、Milestone 認定に伴う贈呈式開催の調整、MAW2018 開催に向けた相談を行いたいことが述べられた。Milestone 贈呈式の調整については Japan Office 百武様と進めていただくことが確認された。

### 8. JC Coordinator 報告

#### 8-1 MD Coordinator

資料(8-1)

橋本 MD Coordinator から報告があった。IEEE 全体の Member Development に関する懸念と課題が述べられた。本部でも対策を検討しているが難しい問題である。そのような現状において各支部には、会員向け WEB サイトの充実や Chapter との連携等の活動に期待している。

#### 8-2 YP Coordinator

資料(8-2)

西宮 YP Coordinator から報告があった。Coordinator 設置に伴い Japan YP News Letters を企画中である。前回理事会にて報告した North Asia SYWL Workshop の開催提案については、R10 の意向で今回は中国に焦点を絞り開催されることになったため、引き続き来年以降に検討するとの説明があった。R10 North Asia Zonal Student Representative の設置、任命、その目的について説明があった。

#### 8-3 LMAG Coordinator

資料(8-3)

青山 LMAG Coordinator より報告があった。会員の高齢化とともに Life Member が増加傾向にある。R10 内には7つの LMAG があり、今後さらに10箇所を設置することを目標にしている。Life Member 数が多い4つの LMAG より委員を選出して R10 Life Member Committee を設置予定である。

## 9. その他

### 9-1 MGA SDEA 委員会の活動状況

資料(9-1)

南 MGA SDEA Member より報告があった。主な報告事項として、SDEA 委員会の担務、MGA 内での位置づけ、構成メンバの見直しの検討、Japan/India Initiative の進捗確認、Industry Relations 関連について説明があった。

### 9-2 公募案件に関するメール配信について（審議）

資料(9-2)

杉江 Secretary、矢野 WIE Chair より審議依頼があった。

今回は、公募案件配信を希望する JC WIE 会員に限定し配信を行うことが承認された。

今後の方向性については今回の結果も踏まえ、もう少し広い視野で関係者と議論を行うということで合意された。

以上

### 【補足】

理事会終了後同会場にて、札幌支部との意見交換会、及び、懇親会が開催された。

### ◆参考：札幌支部との意見交換会

日時：2017年7月14日（金） 17：00－17：30

概要：

・札幌支部大鐘 Vice Chair より、支部の会員状況、運営上の課題などについて説明があった。

#### ・主な議論

- ✓ 札幌支部に YP を作るのは難しいか。
- ✓ 北海道の農業、漁業での情報通信、IoT の活動は、進展しているのではないか。  
この分野と連携した活動は可能か。
- ✓ 北海道には、規模の大きい企業は少ないが、札幌にはベンチャー、中小企業等はある。これらとの連携は可能か。
- ✓ 中小企業へ説明できる IEEE の資料があるとよい。米国には、Industry Outreach として資料はあるが、日本にはない。日本でどんなことができるかが重要。
- ✓ IEEE ComSoc では、Distinguished Lecturer を今年、室蘭工大、函館未来大

で開催する。北大などでも開催することを考えるとよい。

- ✓ IEEE 主催の英語論文を書く Session やプレゼンテーションの Session は、人気が高い。参考にするとよい。

以上

【2017年第2回 IEEE Japan Council 懇親会 集合写真】

